

# 高知福祉専門学校

学校新聞 2月号 学校の行事や魅力を毎月お届けします！

学生Interview	1
卒業研究発表会	2
介護福祉士会入会案内	3
遊んで笑って新年会	3
介護福祉学科特別講演	3
日帰り旅行でリフレッシュ	3

## 学生Interview -介護福祉士国家試験を終えて-

介護福祉学科

1月29日(日)に、第35回介護福祉士国家試験が実施され、介護福祉学科2年生が受験しました。今回は、試験を終えたばかりの介護福祉学科2年の明神 絢さん(高知県立山田高等学校出身)にインタビューを行いました！

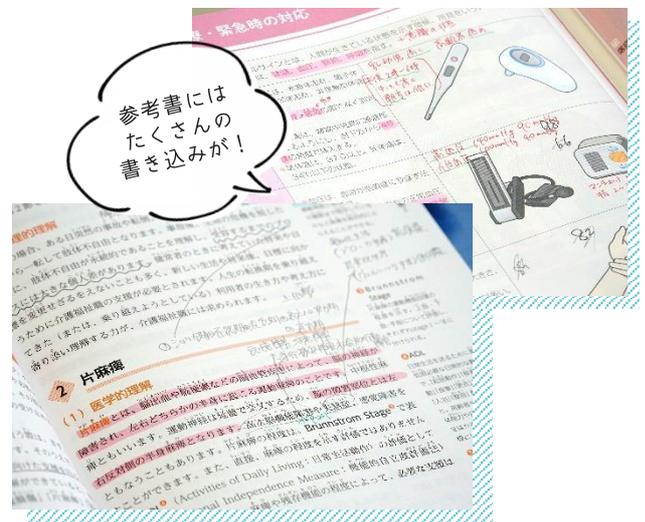
### Q & A

- Q1. 国家試験の勉強を始めたのはいつ頃からですか？  
3か月前から始めました。その頃から学校で国家試験対策の補習も始まったので、本腰を入れて頑張りました。
- Q2. 国家試験に向けて、学校で行う授業以外にどんな取り組みを行いましたか？  
授業時間の合間にクラスメイトと問題の出し合いをしたり、スマートフォンのアプリを利用して過去問を解いたりしていました。
- Q3. 国家試験の勉強をするにあたって苦労した点、大変だった点はどこでしたか？  
疾患の名称などを暗記するのに苦労しました。また過去問の点数が上がらなかった時、落ち込んでしまい大変でした。
- Q4. 今の1年生に向けて、何かアドバイスがあれば教えてください。  
試験の3か月前から国家試験の勉強を始めましたがもっと前から勉強したらよかったと思っていますので、後輩の皆さんは早めに始める事をおすすめします！！
- Q5. 国家試験を終えて今の率直な気持ちをお聞かせください！  
たくさん遊びたいと思っています！



明神さんのインタビューにもありましたが、当校では授業の無い合間で国家試験対策の補習を11月から行い、学生・教員ともに全力投球で試験対策に取り組んでできました。

皆さんの努力が花開くことを心より願っています。介護福祉学科2年生の皆さん、試験お疲れ様でした！ (記者：奥田)



# ◇ ＊ 2/2,2/15 学びの集大成！卒業研究発表会 ＊ ◇

## こども福祉学科

2月2日（木）、こども福祉学科2年生による卒業研究発表会が開催されました。演劇やピアノ等を発表するという事で、直前まで舞台セットや入場口の装飾、演劇やピアノの練習を行い、いざ本番。当日は、保護者の方にも来ていただきました。

まずは幼児教育コースの出番！演劇「アナと雪の女王」に始まり、クイズを挟み、最後はダンス。演劇では観客に聞こえやすくハキハキとした声で、役になりきって演じ、ダンスパートでは今、流行っている「ジャンボリミッキー」を披露、観客も手拍子をする等、盛り上がったムードで学生も楽しそうに踊っていました。

次は保育士コースの出番！演劇「シンデレラ」、マジック、手話を用いた歌を披露してくれました。「シンデレラ」では王子様ではなくその執事と結ばれる、というオチに思わず笑ってしまいました（笑）手話を用いた歌「どんな色が好き」の披露では、まず初めに観客に手話を教えたあと、観客も一緒に手話を楽しむことができました。

卒業研究発表会も終わりに近づき、最後はピアノの演奏です。幼児教育コースと、保育士コースを2組に分けた計3組が演奏をしました。先ほどまでの楽しそうな雰囲気・表情とは一変し、とても真剣な様子でピアノを弾く姿が印象的でした。

一から自分たちで考え作り上げた卒業研究発表会。一生懸命に披露する学生たちはとても輝いており、感動しました。こども福祉学科2年生、お疲れ様でした！（記事：津野）



★ ＊

自分達で作成した“ネグレクト啓発ポスター”

オリジナル幼児曲のダンス・伴奏を実演！

児童虐待は発見が難しいです

児童側の理由  
 ○児童は怖くて、言えません。  
 ○虐待を受けていても保護者が「好き」  
 ○大人を信じられなくなっている。

保護者側の理由  
 ○何かことやめることなどをつけと勘違いしている。  
 ○児童の弱みを見て強く当たってしまう。  
 ○表面では問題のない保護者を演じている。

あなたの勇気がいのちを救います。

社会福祉学科 3年

## 社会福祉学科

2月15日（水）、社会福祉学科3年生による卒業研究発表会が開催されました。

保護者、福祉施設の方々、教員が見守る中、スーツに身を包んだ学生たちは緊張した面持ちで、グループごとに研究した成果を発表しました。全部で3つに分かれたグループの各テーマは、『幼児曲の調性』、『独居高齢者の増加に伴う高齢者問題について』、『高知市の児童虐待について』と、全く異なる内容です。

自ら研究、考察した幼児曲の特徴に基づいた学生オリジナルの幼児曲を実際の保育所で実践し、音楽を通して初めて会う子どもと意思疎通ができていた様子からは、学生たちの研究の成果と、音楽がどれだけの『力』を持っているのかを実感しました。

高齢者問題、児童虐待に関しては、今まさに社会問題にもなっている内容でもあり、誰もが知っておくべきとも言える研究内容ばかりでした。現状の把握、それにとまなうアンケートの実施、結論までが分かりやすくまとめられており、解決に向け今すぐにできることは少ないながらも、啓発ポスターを作成するなど、一人ひとりができることについて考えさせられる発表でした。

それぞれの研究は、卒業してからも様々な場面で活かされていくはずで、福祉の専門学校を卒業する学生たちの『今、人の為に、自分ができていること』を真剣に考える姿は、社会の役に立つ人材となる第一歩でもあるように感じました。（記者：田中）

## 2/2 介護福祉士会入会案内

### 介護福祉学科

2月2日（木）、卒業を間近に控える介護福祉学科2年生を対象に、高知県介護福祉士会の方4名にお越しいただき、介護福祉士会入会案内が行われました。

介護福祉士会では意見交換、研修等を行うことで介護職員・介護福祉士としてスキルアップを目指しています。また悩みを相談できる機会が設けられており、「30・40代になると相談できる相手が少なかったが、介護福祉士会の仲間が相談に乗ってくれ助けられた」という話を聞くことができました。さらに、若者同士で意見や情報を共有できる場もあり、相談できる相手がいることはとても心強いと感じました。そして、4名ともそれぞれの立場でお話しいただきましたが、介護現場を盛り上げたい！という想いを皆様から感じました。

数ヵ月後には社会人になる2年生も、実際に現場で働く「先輩」からの話に真剣に耳を傾け、有意義な時間になった様子でした。（記事：津野）

## 2/6 遊んで、笑って♪新年会

### 社会福祉学科

2月6日（月）、社会福祉学科2年生による『新年会』が行われました。本来であれば12月23日にクリスマス会を行う予定でしたが、大雪により中止に。年を越し、新年会として見事復活しました！

まずは、ゲーム大会。こども福祉学科2年生のクリスマス会でも行った、頭に取り付けたコップにスーパーボールを入れるゲームでは、すぐにコップに入れることができる学生も多く、とても上手でした！もしかしたら、こども福祉学科の様子を見て練習したのかもしれませんが（笑）

次は、クイズ大会。担任・細川先生のオリジナルクイズに対し、縦一列に並び「○」か「×」に分かれます。それぞれ相談したり推理したりと、とても楽しそう！外れたときにはとても悔しそうにしていました。

その後は、お菓子やケーキを食べ、最後はプレゼント交換を行い、終了となりました。大変盛り上がった新年会となり、細川先生も「あんなに楽しんでくれるとは！」と、とても嬉しそうに話してくれました。（記事：津野）



## 2/13 介護福祉学科特別講演

### 介護福祉学科

2月13日（月）、高知県介護支援専門員連絡協議会会長で、実際にケアマネジャーとしても活躍されている、本校卒業生の廣内一樹様にお越しいただき、介護福祉学科1・2年生を対象に特別講演を行っていただきました。

ケアマネジャーは、利用者一人ひとりの相談にのり、その人の生活の課題・必要な支援を確認し、社会資源や様々な職種と利用者を繋げ、また実際に一人ひとりに合った支援方法を考えます。そして、利用者の変化を確認するため定期的に訪問・情報収集を行い、必要であれば新たな支援方法を考えるという役割・仕事で、一人ひとりと密に向き合うことが特徴です。本校の介護福祉学科が目指す「介護福祉士」を取得後、実務経験を経て取得することも可能であり、実際にケアマネジャーになりたいという学生もいるようでした。

講演では、施設ケアマネジャー・居宅ケアマネジャー双方のメリット・デメリットやどのような人が向いているか、資格取得ルート等、『ケアマネジャー』という職業についてお話を聞くことができました。そして、利用者との信頼関係構築のため、コミュニケーションが大事であること、知識や一人ひとりへの尊厳が必要であることなど、ケアマネジャーに必要なこともお話しいただき、私自身も勉強になりました。

そして最後に、『介護』に対するイメージを良くしたい！という熱いメッセージもいただきました。（記事：津野）

## 2/16 日帰り旅行でリフレッシュ

### 社会福祉学科

2月16日（木）、社会福祉学科3年生がクラスイベントを行いました！

須崎市のレジャー施設LOGOS PARKに貸切バスで向かい、バーベキューやアスレチック広場での運動などアウトドアな体験をたくさんすることができ、クラスメイト間の親交を深めることができました。

学校生活も残りわずかとなり、少し寂しさも感じますが皆さんとたくさんの思い出を共有できて記者自身もとても嬉しく感じます。素敵な笑顔を見せていただきありがとうございます！（記者：奥田）

